ＬＣＤα メーターキット　取扱説明書

商品番号	：０９－０１－００５４
適応車種	：ＫＡＷＡＳＡＫＩ　ＫＳＲ１１０
	（ＫＳＲⅠ／Ⅱ取付説明付属）
フレーム番号	：ＫＬ１１０Ａ－０００００１～

・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

～特　徴～

○ＳＴＤメーターステーを利用し、ステンレスメーターステー、ラージＬＣＤスピード＆タコメーターをボルトオンで装着出来ます。
　またターン、ニュートラル、ヘッドライトＨｉ＆Ｌｏインジケーターランプ（ＫＳＲ１１０）も付属しています。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
◎外品のバッテリーレスキットとの同時装着はしないで下さい。
◎スパークプラグは必ず抵抗入りプラグを使用し、他の点火系部品との併用はなさらないで下さい。タコメーターが正常に作動しなくなります。
◎当ＬＣＤメーターは、下記の事に注意してご使用下さい。
　・表示部に使用している液晶の性質として、長時間直射日光を受けると液晶画面が黒くなります。
　　なるべく液晶部分に直射日光があたらないように気を付けて下さい。万が一変色した場合は、メーター本体を直射日光から避け、冷やして下さい。また、真夏等強い直射日光下で長時間放置した場合は、シミのような後遺症が残る等支障が生じる可能性がありますので、特に気を付けて下さい。
　・本商品は完全防水ではありません。
　　湿度の高い状態でご使用になりますと、本体内に水分が浸入して画面が曇ってしまう可能性があります。
◎ＫＳＲⅠ／ⅡはＫＳＲ１１０と配線のみ異なります。配線については[ＫＳＲⅠ／Ⅱ用追加説明]をご覧下さい。

ＫＳＲ１１０は点火信号の都合上、３５００ＲＰＭ辺りでのみＬＣＤタコメーターの表示数値に乱れが生じます。エンジン回転数をこの回転域で固定走行した場合や、ゆっくりとエンジン回転数を上げ下げした場合などに症状が現れます。
上記以外の回転数では正常に作動します。ご理解の程よろしくお願いします。

⚠注意　下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
　（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。
　（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。
　（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。
　（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。
　（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
　（部品の脱落の原因となります。）

⚠警告　下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
　（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
　（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。
　（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
　（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

Mar./08/ 07

～商　品　内　容～



番号	商品内容	数量	番号	商品内容	数量
1	メーターステー	1	１３	メーター電源用配線	1
2	メーターサブコード	1	１４	パルス入力配線	1
3	タイラップ　１５０mm	1	１５	インジケーターランプホルダー（φ６４）	1
4	タイラップ　２５０mm	1	１６	ＬＥＤインジケーターランプ（グリーン）	1
5	ハーネスカバー	1	１７	ＬＥＤインジケーターランプ（ブルー）	1
6	エレクトロタップ	3	１８	ＬＥＤインジケーターランプ（オレンジ）	1
7	６角ナット　5mm	4	１９	止ネジ	1
8	フランジナット　6mm	2	２０	Ｌレンチ	1
9	スペーサー	2	２１	熱収縮チューブ	1
１０	プレーンワッシャ	2	２２	オイル警告灯用配線	1
１１	６角穴付きボタンボルト　６×２５	2	２３	９極カプラ	1
１２	ＬＣＤスピード＆タコメーター	1			

※２１はＫＳＲ１１０では使用しません。

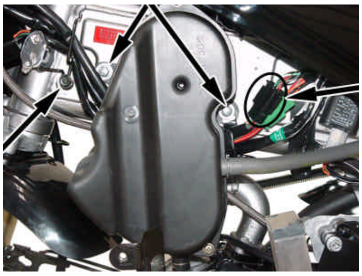
Mar./08/ 07

～取　り　付　け　要　領～

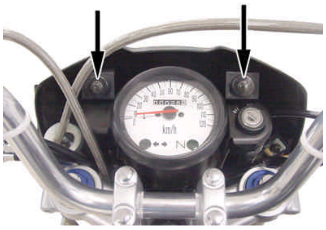
1．左右シュラウド固定ボルト各３本を外し、左右シュラウドを取り外して下さい。




2．左タンク下車体側面のスピードメーター用６極カプラ（黒）を取り外し、エアクリーナーボックス固定ボルト２本とハンドルロックキーシリンダー後方のコードクランプ固定ボルトを外して下さい。



3．フロントカウル固定ボルト４本を外し、フロントカウルのヘッドライトユニットの６極カプラ（白）の接続を外し、フロントカウルを取り外して下さい。




4．スピードメーターケーブル、メーター固定ナット及びワッシャを取り外し、ＳＴＤスピードメーターをフレームより外して下さい。



5．②メーターサブコードをＳＴＤメーターコードと同じ取りまわしでフレームに沿わせ、左タンク下車体側面のスピードメーター用６極カプラ（黒）と接続して下さい。

6．左タンク下車体側面の左ハンドルスイッチ用９極カプラ（緑）のカプラ付近のビニールテープを剥がし、橙コードと②メーターサブコードの橙コードを⑥エレクトロタップにて接続し、項目（２）で外したコードクランプ及びエアクリーナーボックスのボルトを取り付けて下さい。

7．⑮インジケーターランプホルダーに⑯、⑰、⑱インジケーターランプをはめ込み、付属のナットにてインジケーターランプを固定して下さい。

8．⑫ＬＣＤスピード＆タコメーターに⑮インジケーターランプホルダーをはめ込み、⑲止ネジにて好みの角度で固定して下さい。
注意：⑲止ネジを締めすぎますとメーターの変形、ネジが破損する場合があります。

9．⑫ＬＣＤスピード＆タコメーターの取り付けボルトに⑦６角ナットを締め付け固定し、⑫ＬＣＤスピード＆タコメーターを①メーターステーに取り付け、⑦６角ナットにて固定して下さい。
注意：規定トルクを必ず守って下さい。
⑦６角ナット：Ｔ＝５Ｎ・ｍ(０.５ｋｇｆ・ｍ)
※図 - Ａ参照

10．ＳＴＤメーターステーの防振ゴムに⑨スペーサーをはめ込み、項目（９）で組み立てた①メーターステーをＳＴＤメーターステーに⑪６角穴付きボタンボルトにて取り付け、⑩プレーンワッシャ、⑧フランジナットの順で固定して下さい。
※図 - Ａ参照
注意：規定トルクを必ず守って下さい。
⑪６角穴付きボタンボルト、⑧フランジナット
Ｔ＝１０Ｎ・ｍ(１.０ｋｇｆ・ｍ)



11．⑬メーター電源用配線の茶コードと、⑭パルス入力配線を接続し、イグニッションコイル付近まで取り回して下さい。余った⑭パルス入力配線は、ハンドルをきった時に余裕がある長さで切断して下さい。
ハイテンションコードよりプラグキャップを取り外し、ハイテンションコードのイグニッションコイル付近で⑭パルス入力配線を約２周巻き付けビニールテープ等で仮止めをし、㉑熱収縮チューブを被せ、ドライヤー等でチューブを収縮させて下さい。
警告：タンクにガソリンが入っていますので、ライター等の火を使い、チューブを収縮させないで下さい。

12．スピードメーターにスピードメーターケーブルを接続し、⑤ハーネスカバーにコードを通し、スピードメーター及びインジケーターランプのコードを②メーターサブコードと接続して下さい。
この時、ヘッドライトＨｉ＆Ｌｏインジケーターランプは、オスギボシを切り取りヘッドライトユニットソケット付近のコードのビニールテープを剥がし、⑥エレクトロタップにて接続して下さい。
コードは邪魔にならない様⑤ハーネスカバー内で束ね、③、④タイラップにてしっかりと固定して下さい。
※配線図参照

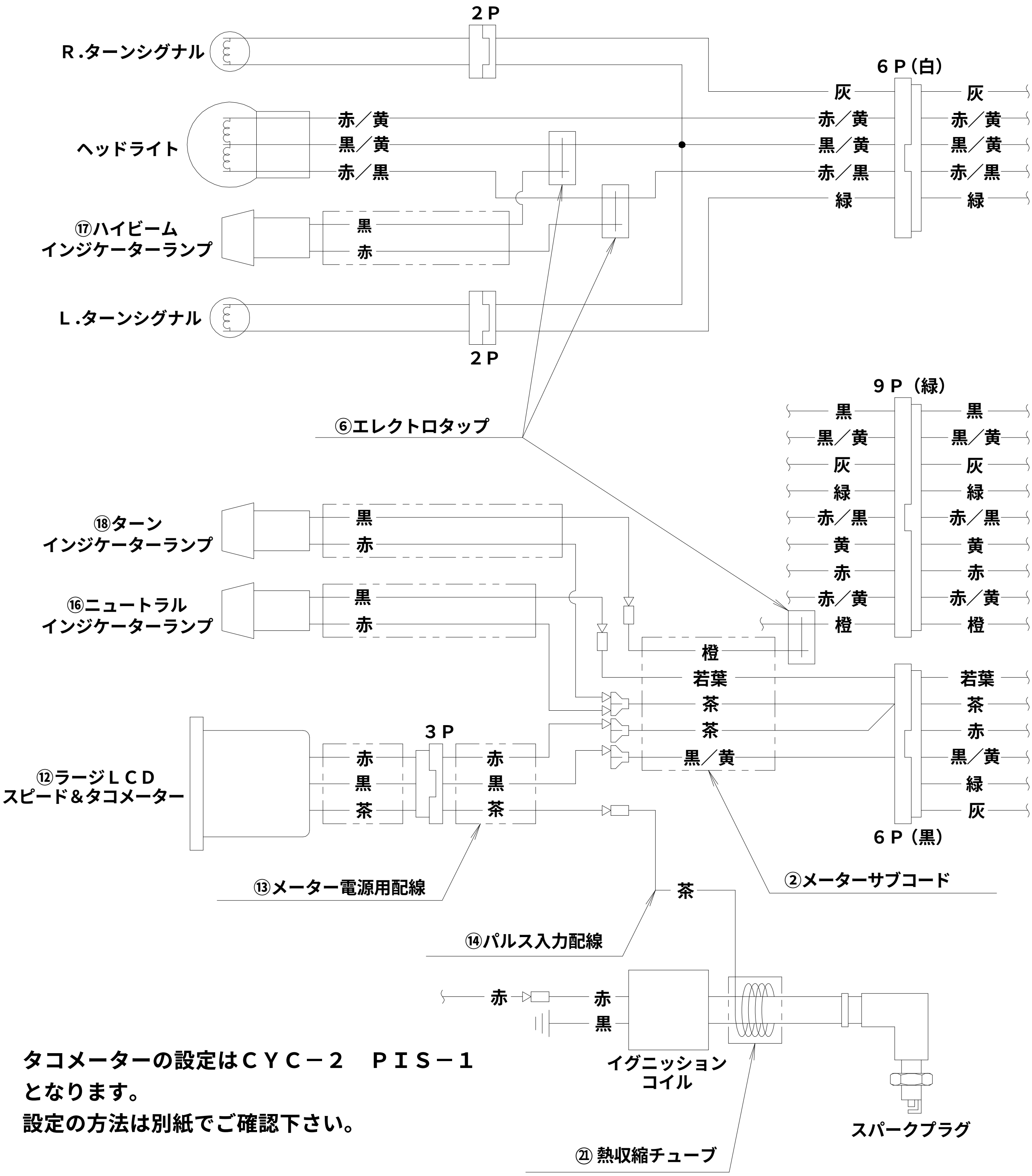
13．フロントカウルのヘッドライトソケット及び左右ウインカーの２極カプラをそれぞれ接続し、フロントカウルをＳＴＤボルトにて取り付け固定して下さい。

14．エンジンを始動し、スピードメーターの照明ランプの点灯状態とインジケーターランプの点灯の作動を確認し、問題が無ければ安全な場所で低速走行を行いスピードメーターの作動を確認して下さい。
警告：必ず換気の良い場所でエンジンを始動させて下さい。

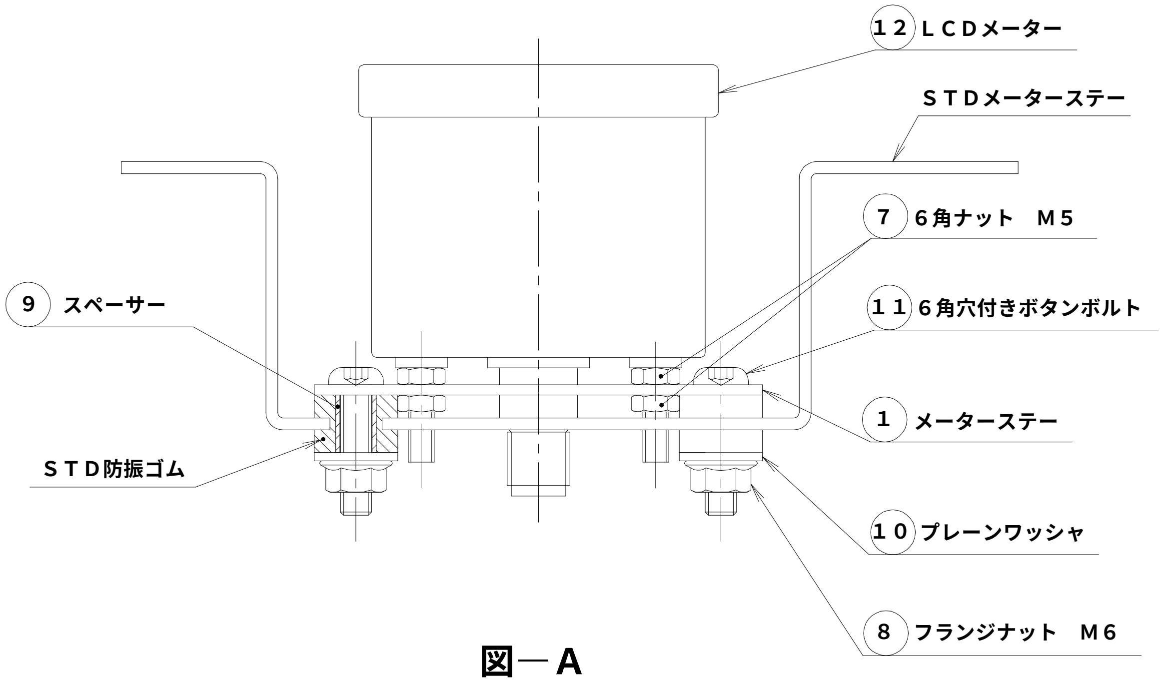
15．作動に問題が無ければ、左右シュラウドをＳＴＤボルトにて取り付けて下さい。

Mar./08/ 07

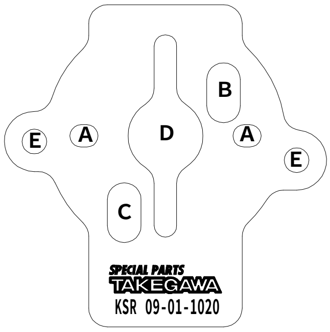
～配　線　図～



タコメーターの設定はＣＹＣ－２　ＰＩＳ－１
となります。
設定の方法は別紙でご確認下さい。

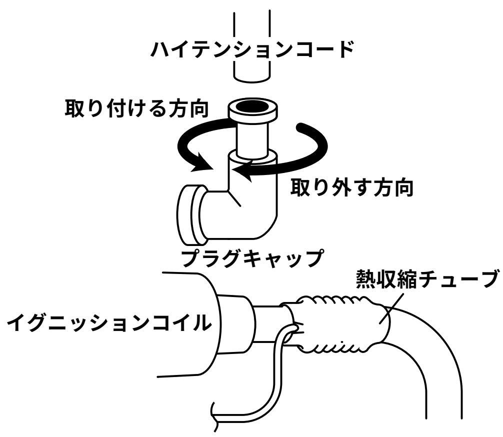


図―A



A	スピードメーター取り付け穴
B	使用しません
C	スピードメーターコード通し穴
D	スピードメーターケーブル通し穴
E	スピードメーターステー取り付け穴

①メーターステー取り付け穴



ハイテンションコード

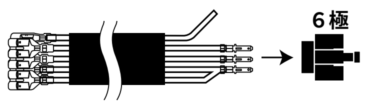
SPECIAL PARTS TAKEGAWA
〒５８４－００６９
大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７
FAX ０７２１－２４－５０５９
URL http://www.takegawa.co.jp

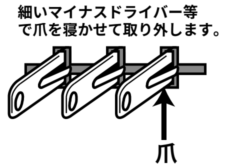
ＬＣＤα メーターキット　取扱説明書

～ＫＳＲ Ⅰ／Ⅱ 用追加説明～

本製品はＫＳＲ１１０用の商品の為、ＫＳＲⅠ／Ⅱでの取り付けには、配線の加工作業も必要があります。あらかじめご了承下さい。
青ＬＥＤインジケーターランプはオイル警告灯で使用するので、ＫＳＲ１１０での使用にあるハイビームインジケータは無くなります。
タコメーターの設定は、ＣＹＣ－２　ＰＩＳ－２となります。
設定の方法は別ページに記載しております。

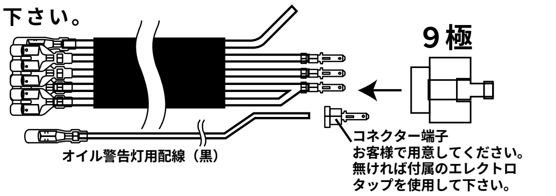
１.②メーターサブコードより９極カプラ黒を外してください。ターミナルの爪を細いマイナスドライバー等でロックを解除し、引き出して下さい。



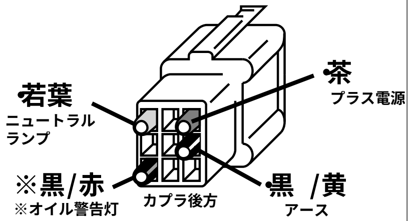


２.ノーマルメーターの９極カプラ黒を上記と同じ方法で取り外して下さい。

３.９極カプラ黒を②メーターサブコードに取り付けます。下図の差込位置にターミナルを差し込んで下さい。この時ターミナルの爪をロックが掛かるよう起こし、向きに注意し差して込んで下さい。

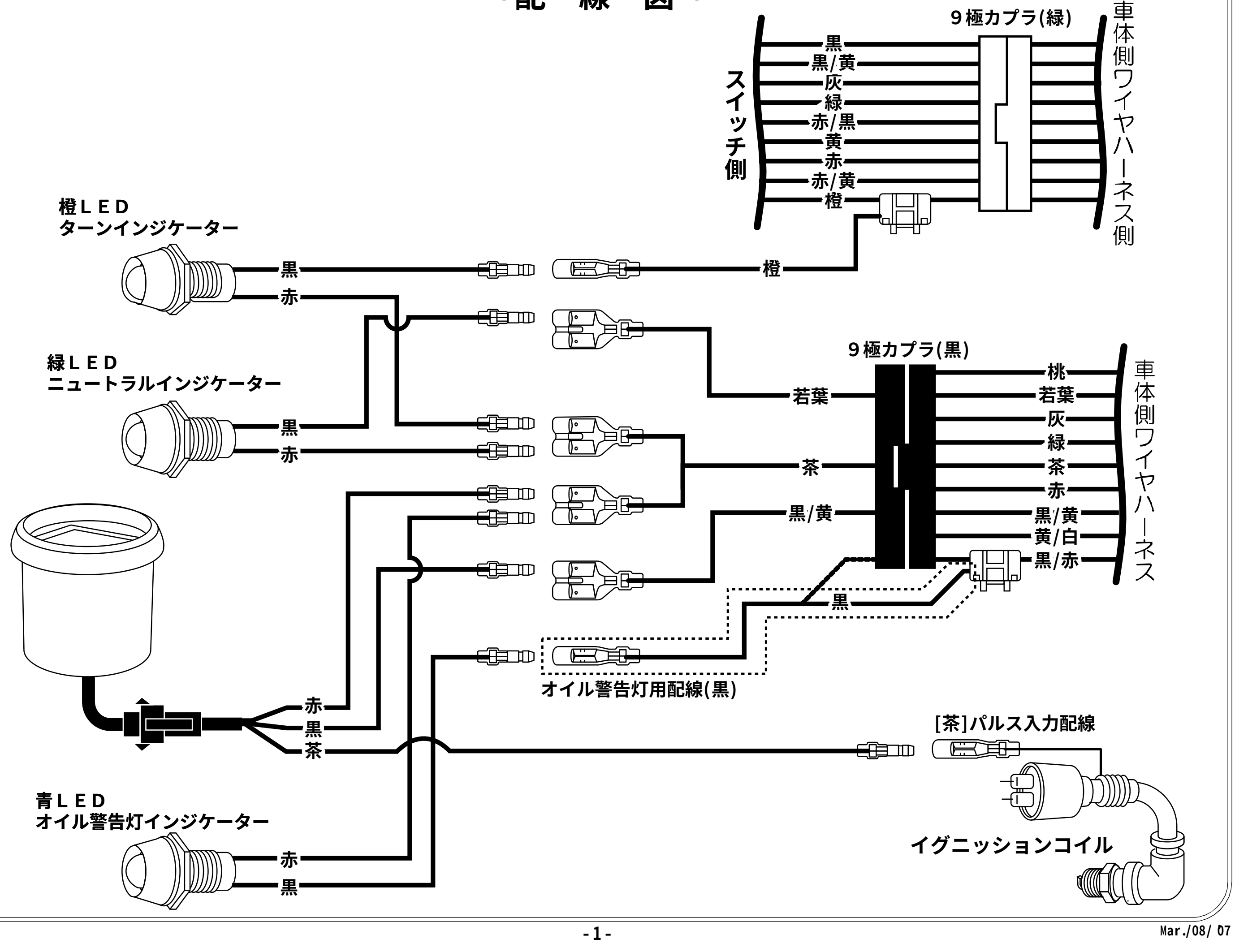


※オイル警告灯配線でカプラ用コネクターをお客様で用意出来た場合は図中の左下に差し込んで下さい。無い場合は車体側ワイヤハーネスの黒／赤コードにエレクトロタップで接続します。



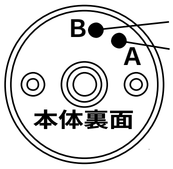
４.配線図を参考に配線作業を行って下さい。
取り付け後は必ず、各部の動作、点灯確認を行って下さい。
特にオイル警告灯の不良はエンジン破損、事故につながりますので十分点灯確認を行って下さい。

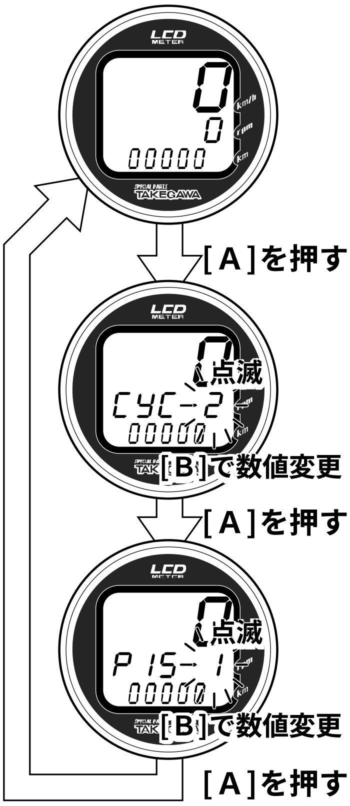
～配　線　図～



Mar./08/ 07

～タコメーターの設定方法～





メーターの電源が入った状態（液晶表示がある）にして下さい。

［Ａ］のボタンを一回押します。
画面に「ＣＹＣ～」という表示が出ます。
この時､［Ｂ］のボタンを押す度に＂ＣＹＣ－２＂⇔＂ＣＹＣ－４＂
と交互に表示が変わります。

ご自分のバイクに合わせ、どちらかを選択して下さい。
＂ＣＹＣ＂の選択が完了しましたらもう一度［Ａ］ボタンを押して下さい。

画面に「ＰＩＳ～」という表示が出ます。
この時［Ｂ］のボタンを押す度に＂ＰＩＳ＂の右側の数表示が変わります。
上記で＂ＣＹＣ－２＂を選択した場合は１⇒２⇒３⇒４⇒１⇒２⇒・・・・
となります。
また＂ＣＹＣ－４＂を選択した場合は１⇒２⇒３⇒４⇒５⇒６⇒８⇒１・・
となります。
ご自分のバイクに合わせ、選択して下さい。

すべての設定が完了し､［Ａ］ボタンを押すと設定変更画面から標準画面に
戻ります。

エンジン種類（ＣＹＣ）、気筒数（ＰＩＳ）について
ここでの［エンジン種類、気筒数］はクランクシャフト１回転辺りの発火回数を表すための例えです。
ですから、実際のバイクのエンジン種類や気筒数とは異なる場合があります。

０.５回はクランクシャフト２回転に１回発火を表しています。

クランクシャフト１回転あたりの発火回数	０.５	１	１.５	２	２.５	３	４
ＣＹＣ－２（２サイクルエンジンの例え）		1-P		2-P		3-P	4-P
ＣＹＣ－４（４サイクルエンジンの例え）	1-P	2-P	3-P	4-P	5-P	6-P	8-P

Ｐは気筒数の例え

●ご自分のバイクの発火回数が分からない時
エンジン種類は［ＣＹＣ－２］固定で、まず気筒数を［４－Ｐ］に設定し、エンジンを軽くふかして表示数値を確認して下さい。気筒数４－Ｐでは大抵実際よりも少なく表示されますので様子を見ながら３－Ｐ → ２－Ｐ → １－Ｐと数値を変えて行くと表示数値が増え、丁度良い設定が見つかります。

モンキー系エンジン、エイプ系エンジン、その他４サイクル１気筒、４気筒のエンジンの多くがクランクシャフト１回転あたり１発火ですので設定は［ＣＹＣ－４　１－Ｐ］となります。
２サイクル１気筒のバイクの一部やインナーローター装着車では、クランクシャフト１回転あたり２回発火の場合があります。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA
〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７　FAX ０７２１－２４－５０５９
URL http://www.takegawa.co.jp

Mar./08/ 07